

生小だより

生駒市立生駒小学校 学校だより 令和7年度 7

令和7年Ⅰ0月 <u>逾</u> 🐇









■運動会の練習・準備 快調です

10月18日(土)の運動会に向けて、子どもたちは毎日練習や準備に励んでいます。10/10 には予行を行い、開閉会式や各学年の競技を短縮版で実施し、一通りの確認を済ませました。ここで出た課題を改め、18日の本番に臨みます。

高学年の迫力ある競技や手際よい準備、中学年の元気あ ふれる様子や低学年のかわいらしい姿を見ていただけるこ とと思います。あとは当日の天候が心配なだけです。次号で は運動会の様子をお伝させていただきます。





*写真 10/10 の予行より

■第2回学校運営協議会 10/8(水)

本年度2回目の学校運営協議会を開催させていただきました。今回は、令和8年度の学校予算について、全国学力・学習状況調査の結果報告、学校評価(中間調査)について審議していただきました。

予算については、事務担当者と教頭より詳細の説明を行い、校舎の修繕、防犯対策について深く議論していただき「要望書」を作成していただきました。学力・学習状況調査では、主幹教諭が結果の概要と本校の児童の学力上の課題について説明を、学校評価については7月に実施した教職員のアンケートについて、校長より説明をさせていただいたのちに、委員の皆様よりご意見をいただきました。あいさつを通して、子どもたちと地域の関係を深めるために、学校、保護者の皆様の協力も必要であるとのご意見等をいただきました。会議後の授業参観では、どの学年もとても落ち着いて授業

を受けている様子に委員の皆様は感心していらっしゃいました。とりわけ一学期と比べて、「年生の子どもたちが生き生きと学習している様子に感激してくださる委員さんもいらっしゃいました。



■わくわくキッズ&スポーツイベント 11/15(土)

11月15日(土)は、2つのイベントが開催されます。前半は育友会主催の「わくわくキッズ」です。一昨年度より定着してきた感のある「謎解きイベント」です。今年はどんなテーマなのか、とても楽しみです。

わくわくキッズが終わって11時からは、地域学校協働本部主催のスポーツイベントです。校区の4つの園の園児の皆さんにも参加を呼びかけます。4つのスポーツ団体(リトルパイン様、生駒ドラゴンズ様、生駒FC様、スタイリー様)にご協力いただき、運動場や体育館で楽しいスポーツに親しんでもらえます。また、小運動場では協働本部の方々が防災備品等を展示してくださる予定です。詳細はチラシをご覧ください。

■中地区総合防災訓練 11/9(日)

11月9日(日)午前8:30より実施されます「生駒市中地区総合防災訓練」に本校も協力し、全体会場としてご活用していただきます。本来の避難先は自治会ごとに異なっていますが、今回は中地区の皆様が本校に集まって、避難所体験(簡易テントやトイレの設置、発電機使用)、消防署・消防団による救護等の練習、カレーライスの炊き出し訓練等が行われます。会場は本校体育館・小運動場・運動場となります。ぜひ子どもたちと一緒にご参加ください。

■11月の学校行事予定(変更する場合があります)

曜日	行事等の予定	備考	
土			
日			
月	文化の日		
火	全校朝の会		
水	緊急地震訓練 10:00		
木	4年交通安全教室		
金			
	中地区総合防災訓練		
月	定期学校訪問(教育委員会訪問)		
火	3年社会見学		
水	1年昔あそび 4年社会見学		
木			
金	1・2年被害防止教室 クラブ(4年クラブ見学)		
土	わくわくキッズ・スポーツイベント		
日			
月	代休		
火			
水	月曜校時 6年箏尺八授業 こだま		
木			
金	クラブ		
\pm			
П	勤労感謝の日		
月	振替休日		
火			
水	こだま		
木	就学時健康診断	下校 13:15	
金	委員会		
土			
П	生駒市教育フォーラム		
	土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土	上 文化の日 月 文化の日 火 全校朝の会 水 緊急地震訓練 10:00 木 4年交通安全教室 金 土 日 中地区総合防災訓練 月 定期学校訪問(教育委員会訪問) 火 3年社会見学 水 1年昔あそび 4年社会見学 木 金 1・2年被害防止教室 クラブ(4年クラブ見学) 土 わくわくキッズ・スポーツイベント 日 付休 火 水 月曜校時 6年箏尺八授業 こだま 木 金 クラブ 土 動労感謝の日 月 振替休日 火 水 こだま 木 就学時健康診断 金 委員会 土	

■二学期の個人懇談について

二学期の個人懇談を12/11(木),12(金),15(月),16 (火),17(水)の5日間行います(13:45~16:30)。なお、本年度より、二学期の個人懇談は希望制とさせていただきます。しかしながら、子どもたちのご家庭・学校での様子の情報交換、三学期や次年度に向けて相談など貴重な機会です。お一人様10分程度の短い時間ではありますが、ご希望のうえ、ぜひご参加くださいますようお願いします。

■全国学力・学習状況調査の結果より

4月に6年生を対象として実施した全国学力・学習状況 調査の結果が返ってきました。その結果は、各児童に伝える とともに、本校の現状の把握と、今後学校として取り組むべき 課題について考える参考資料としています。本年度の結果の 概要は以下の通りです。

1.概要

本年度は「国語科」「算数科」「理科」の3教科で調査を実施しました。その正答率は、県・全国に若干下回る結果となりました。どの教科においても、問題文を正確に読む、テキスト資料や図表といった複数の資料を結びつけて考える点で課題がありました。

正答率(%)	生駒小	奈良県	全国
国語科	66	67	66.8
算数科	54	58	58.0
理科	55	57	57.1

2. 各教科

(1)国語

国語科で特に正答率が低かった領域が、知識及び技能の「(2)情報の扱いに関する事項」、思考力、表現力等の「B書くこと」でした。一例として、「(2)「話し合いの様子」の問題をあげます。問題は、話し合いの様子が文章であらわされており、その話し合いの記録として図表によるメモが提示されていました。そして「話し合いの様子」を読み取りつつ、「話し合いの記録」がどのような意図で作成されたものかを答える問題でした。複数ある情報(文と図表)を関係づけ、理解し解答する必要があります。正答率は55.4%(県63%全国63.3%以下同じ)でした。

(2)算数

算数科では「B 図形」「C 測定」領域が正答率の低い分野でした。2(1)平行四辺形のかき方を説明する問題では、途中までかかれた平行四辺形の作図の続きを考える内容で、コンパスの開き具合(cm)と針をどの頂点に刺すのかを問われていました。図形に関する知識、作図の技能(知識)と共に、ここでも資料(作図を説明した文と途中までかかれた図形)をもとに、総合的に考える力が問われています。正答率 48.2% (56.5% 58.3%)。

(3) 理科

理科では「粒子」の分野での正答率が低く49.7%でした。4(1)水が沸騰してポットの口から噴き出す湯気と水蒸気の関係性について答える問題の正答率が他と比較して低いものでした。温度によって水の状態が変化するという知識をもとにして、湯気が見えなくなる(水が蒸発する)ことを概念的にとらえる必要があります。正答率53.2%(61.5%64.2%)。

3. 学習状況

児童質問紙より、本校の子どもたちの様子が明らかになりました。

「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時刻に寝ている・起きている」等、児童の生活に関する質問において、

「している」「どちらかといえばしている」を合わせると、どの項目においても8割を超えており、比較的良好な生活習慣が確立できている児童が多いことが分かります。また、「自分によいところがある」「先生は良いところを認めてくれている」「将来の夢がある」「いじめはどんな理由があってもいけない」「学校に行くのが楽しい」など、主として自分のことに関するもの、規範意識に関するものにおいて、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答が8割を超えており、子どもたちが落ち着いて学校生活を送っていることが明らかになりました。

学習に向かう姿勢については、「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」という項目で、「できている」だけで48.2%あり、県30.3%全国32.6%を著しく超えています。「どちらかといえばできている」を加えると9割近い児童がそう考えています。さらに、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」でも評価が高く8割の児童が前向きな回答をしています。ESD等、自ら課題を見つけ、疑問に思ったり興味がわいたりしたことを調べるという経験がこの回答につながってはないのかと思います。これらの傾向はICT活用の面でも顕著で、パソコンやタブレットの活用、情報収集、プレゼンテーション、ICTを使った友だちとの共同学習などで県・全国の平均を軒並み上回っていました。

4. 今後の取組

本校の児童は学習に向かう力を持っている児童が多く、これまでの取組の成果から、ICT活用の力が全体的に身についていると言えます。また、普段の授業中の様子を見ていると、学習したことの感想や考えを書くことに対しての抵抗感も少ないように思います。その一方で、長い文章を読んでその内容を正確にとらえ、複数のテキスト資料や図表を正確に読み取って内容を理解し、問題を解決する面での課題が、今回の調査で明らかになりました。

本校の児童の持っている力をさらに伸ばし、課題を解決するために、ESD(持続可能な開発のための教育)を進める

ことで、本校児童が自分たちの暮らしている「いこまのまち」を愛する心を育むとともに、情報の収集・理解・活用・発信力の伸長を図ります。また、基礎的な学習を大切にし、その一方で今後は AI の活用も視野に入れたICT 活用を積極的に進めたい



と思います。

*AIで作成したテストを受ける子どもたちの挿絵(水彩画風)

5. 資料

・令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・ 解説資料について(国立教育政策研究所)

https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm